

障害を能力に変え、誇りを持ちながら自立就労し社会と関わる。
全く新しい職能開発と職域開発プロジェクト

DIALOG
IN THE
DARK

Dialog in the Dark

ダイアログ・イン・ザ・ダーク

www.dialoginthedark.com



Dialog im Dunkeln

Asahi - Japan Economist Daily Newspaper

27/4/1993

ウィーン

ウィーンの自然史博物館で開かれた「第二回（やみ）の対話」と題する特別展が、人々を出迎えている。日常訪を成りぬくさまである市場を巡り、

博物館で闇の世界体感

で、西人の世界を体験し理解してもらおうという趣の展覧会だ。展覧に使われている博物館の三

展覧にはまったく光がない。その中を、西人の世界に誘われるながら、西人の世界

と、いろいろな方面に出会う。道路交通の難や小山の麓れる道を歩き、石段や生、夢などの感覚の近い歩足の街で感じ、暗闇、暗を正確に導く、石段や市場の展覧に彼ら訪を導くで展る。

内設のサエルベルグさんは「私は暗から快楽を感じることはできないが、感じることはできる」という。展覧会を体験すると、その言葉を表現できるようになる。この企画はドイツ盲人協会のパ

イェナケル・アイダク・ウィーンではすでに国舞目までのチケットが売り切れているが、この展覧会は、主観は各地の盲人の協力を得て、日本を含めた世界各国を巡るのが目的だ。

(ウィーン) 展覧会





●発案者 アンドレアス・ハイネッケ Andreas Heinecke

社会企業家・Social Entrepreneur

世界の100人の社会企業家に選ばれる

1955年ドイツ・バーデンバーデン生まれ。
1979年、「東ユダヤ人に関する研究」により哲学博士号を取得。

1983年、ドイツ南西ラジオでジャーナリストおよびドキュメンタリー作家として勤務。その後、フランクフルト盲人協会
で、視覚障害者の社会への参加を促すプロジェクトを担当し、
DIDを開始。1997年Consensとして独立し事業化。

社会メディアとしての新しい機会の創出のため、
このプロジェクトに専念している。

DIALOG IM DUNKELN®
EINE AUSSTELLUNG ZUR ENTDECKUNG DES UNSICHTBAREN

暗闇は、人を元にもどすメディアである





DIALOG IM DUNKELN®
EINE AUSSTELLUNG ZUR ENTDECKUNG DES UNSICHTBAREN

ダイアログ・イン・ザ・ダーク誕生 1989年ドイツ



世界39か国、130都市、
約800万人以上が経験

01AL06
1N 7H E
0AR K

01AL06
1N 7H E
0AR K

×

五感再生と新しい関係性による

Innovation

ソーシャル・イノベーション



固定観念、常識、レッテルを変える。

こどもだから・・・

大人だから・・・

こどもだから、こそ・・・

大人だから、こそ・・・

世界共通のコンセプトは3つ

どこまでも真っ暗

チームで体験

案内人は視覚障がい者

DIALOG I MÖRKRET

EN USTÄLLNING SOM HJÄLPER DIG SE OCH KÄNNA
20 SEPTEMBER 2021 - 31 MAJ 2022
HÖRSTENHÄLLS MUSEUM
HÖRSTENHÄLLS MUSEUM

単なる障がい者疑似体験ではありません。

【常識】

健全者が視覚障がい者を助ける。

【脱常識】

視覚障がい者が健常者を助ける。

■ダイアログ・イン・ザ・ダークの挑戦

目が見えないことが
雇用条件です。

目を使わない経験豊かな全盲の方が有利です。

目が見えなく**ても**出来る仕事
ではありません！

目が見えないから**こそ**できる仕事です。

障がいを能力に変える。

参加者 × 視覚障がい者 × 暗闇

対等な対話



新しい関係性構築へ

【日常】



$n_{IAL}n_U$
 $T_N T_H^E$
 n_{APK}

【非日常】照度ゼロの暗闇

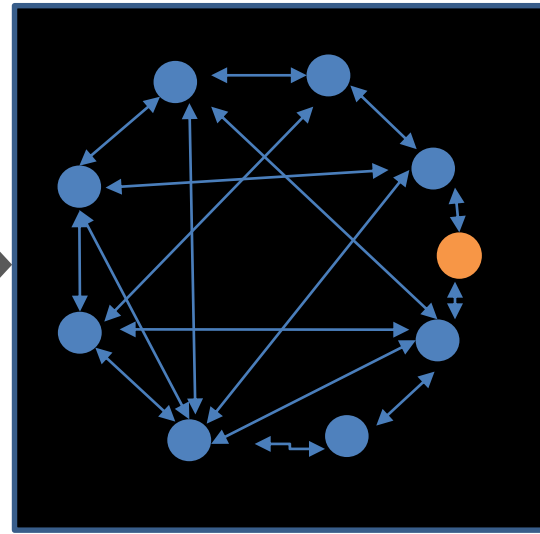
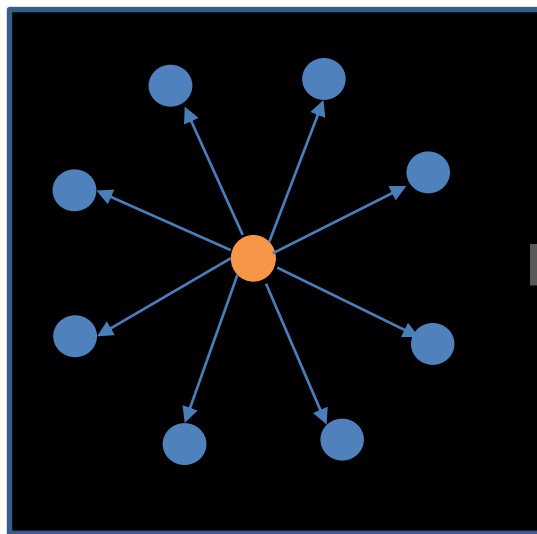
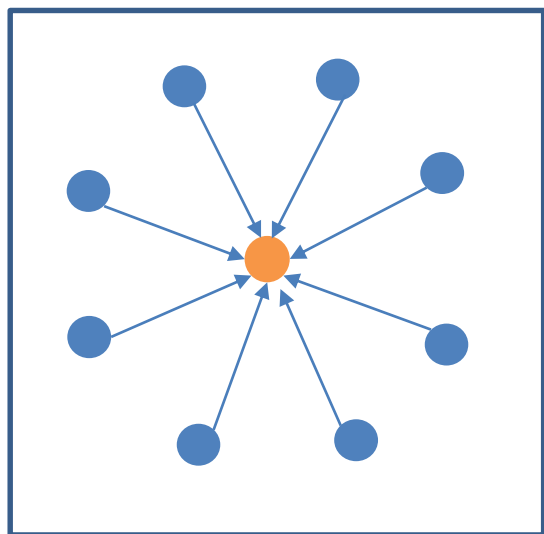
立場の固定化
(固定観念・既成概念)



立場の逆転
(相手の立場)



新しい関係性の醸成
(イノベーション)



感覚を研ぎ澄まし、楽しい共有体験をする。

● 参加者 ● 視覚障害者

n_{IAGUG}

$\tau_{\text{N}} \tau_{\text{H}}^{\text{E}}$

n_{ARK}

暗闇

$n_{IAL}n_U$
 $\tau_N \tau_H^b$
 n_{AR_K}

閾値

視覚



聴覚

触覚

臭覚

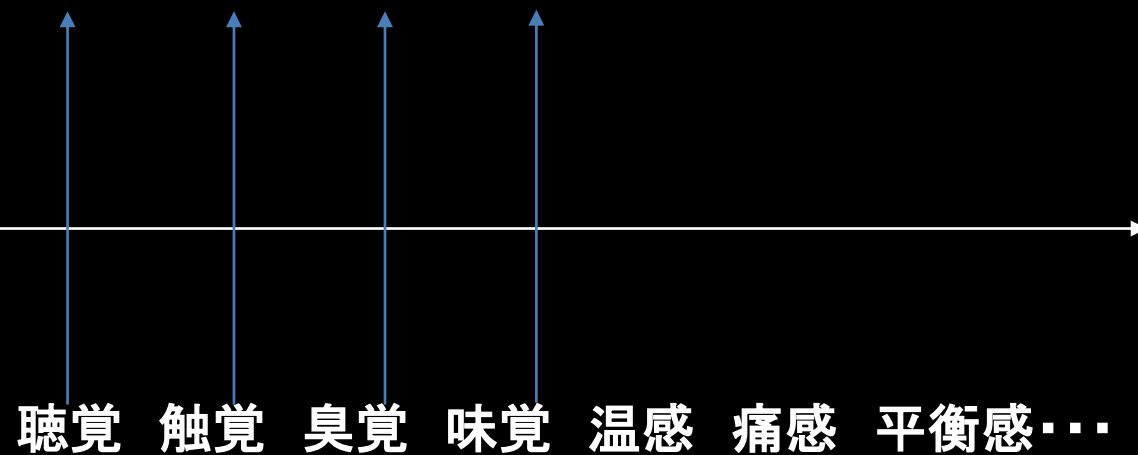
味覚

温感

痛感

平衡感...

閾値を下げる



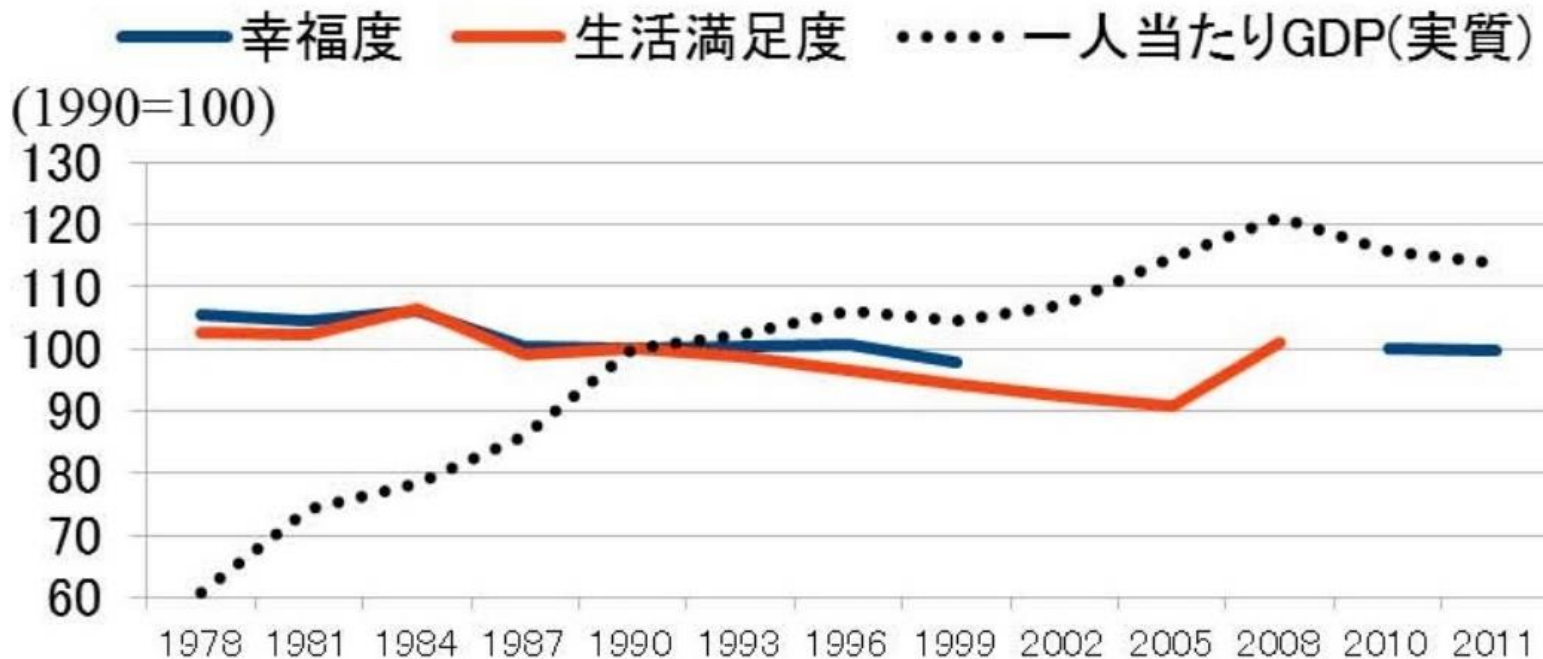
五感を磨く



しあわせ

【日本の幸福度は、GDPには比例しない】

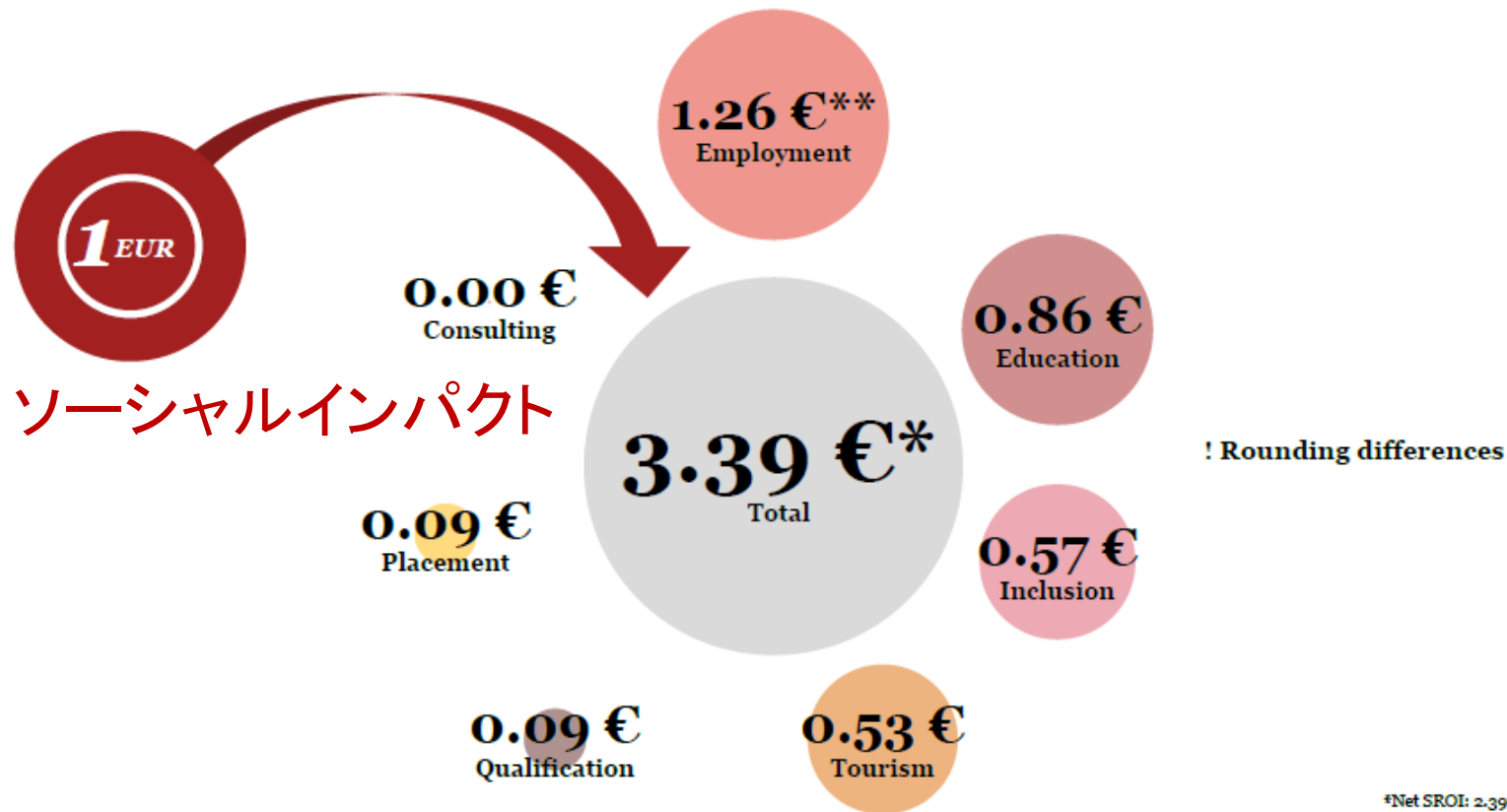
日本における幸福度の推移



出所:幸福度に関する研究会(2011)幸福度に関する研究会報告—幸福度指標試案

ソーシャル・キャピタル。 社会関係性資本

SROI p.a. for each invested EUR in the DM: in total and separately shown per value proposition



*Net SROI: 2.39€
 **Calculation of net SROI is not possible because the investment basis cannot be split up by each activity



1999年から10年間
短期のイベントを続け

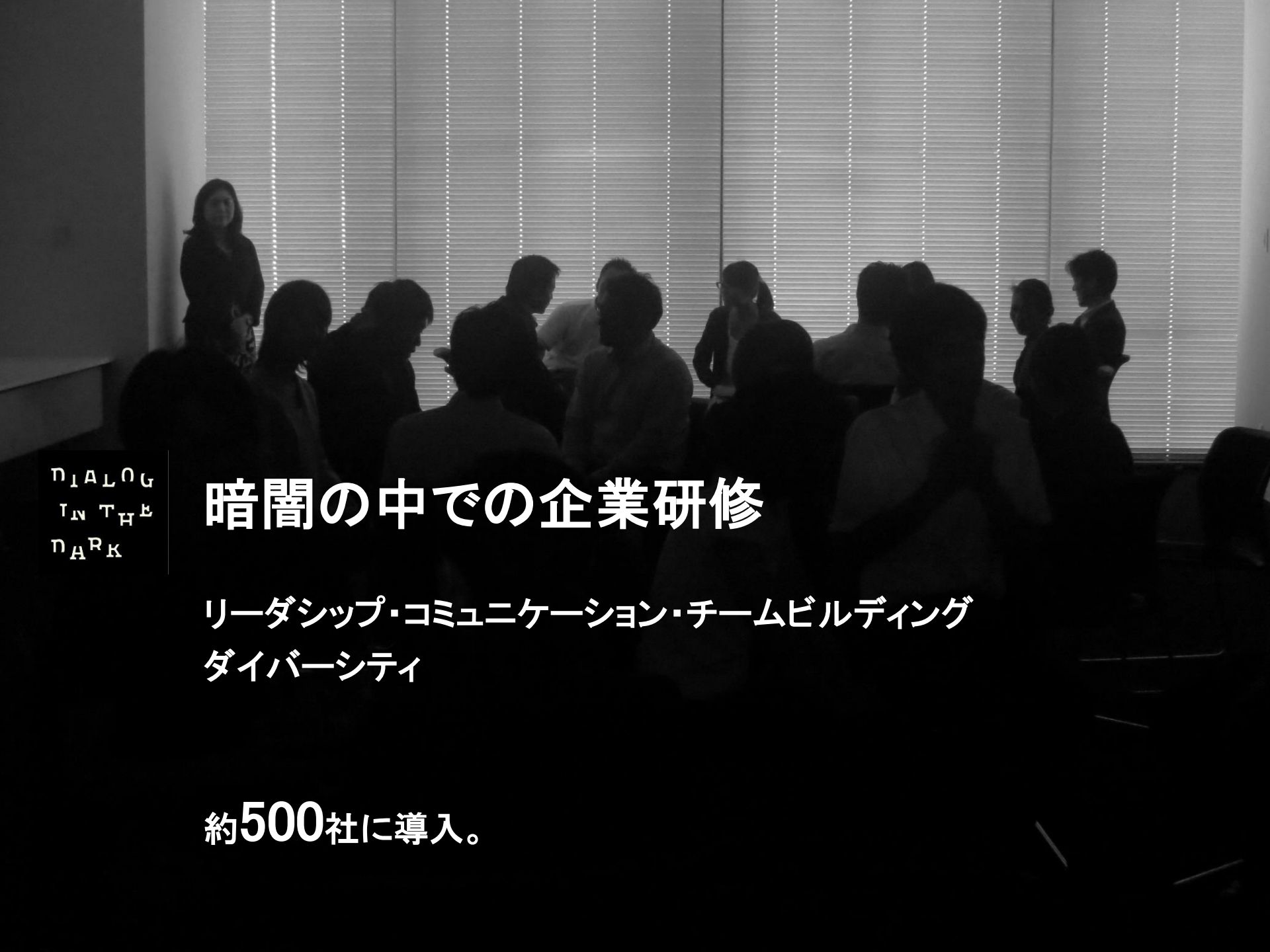
NIALOG
IN THE
PARK

2009年3月20日～
日本における常設@東京
始動

参加者 約170,000名



企業 × 視覚障がい者 × 暗闇



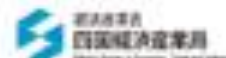
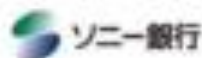
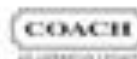
DIALOG
IN THE
DARK

暗闇の中での企業研修

リーダーシップ・コミュニケーション・チームビルディング
ダイバーシティ

約500社に導入。

■ 導入実績 (一部)



順不同



2013年から,

積水ハウスとの
共創プロジェクト
「対話のある家」始動

参加者 約10,000名

職人×視覚障がい者

バリアバリューデザイン

障害者のプラスの財を産業とコラボレーションした例

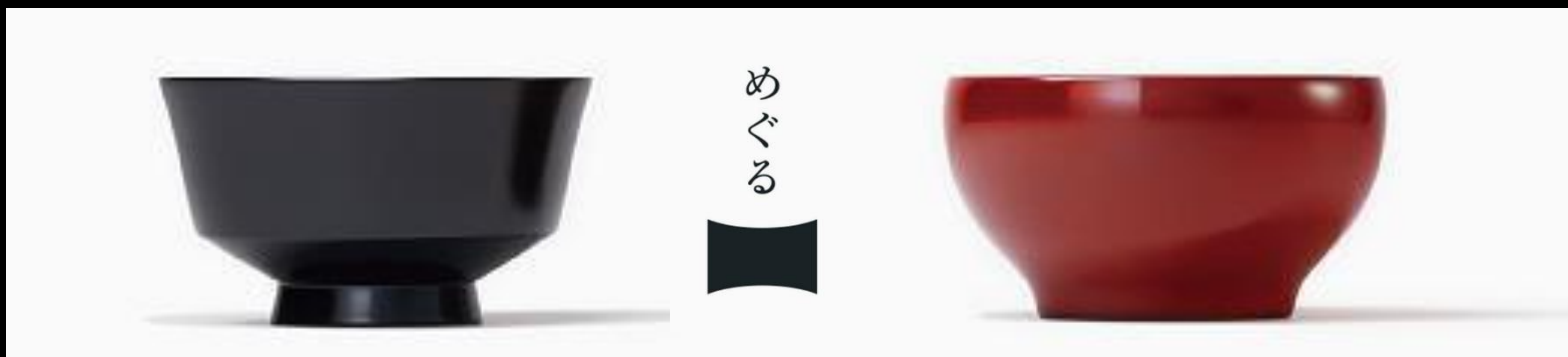
➤ 今治タオルとコラボし、より質のいいタオルを開発



バリアバリューデザイン

障害者のプラスの財を産業とコラボレーションした例

➤ 会津漆器とコラボし、より質のいい漆器を開発

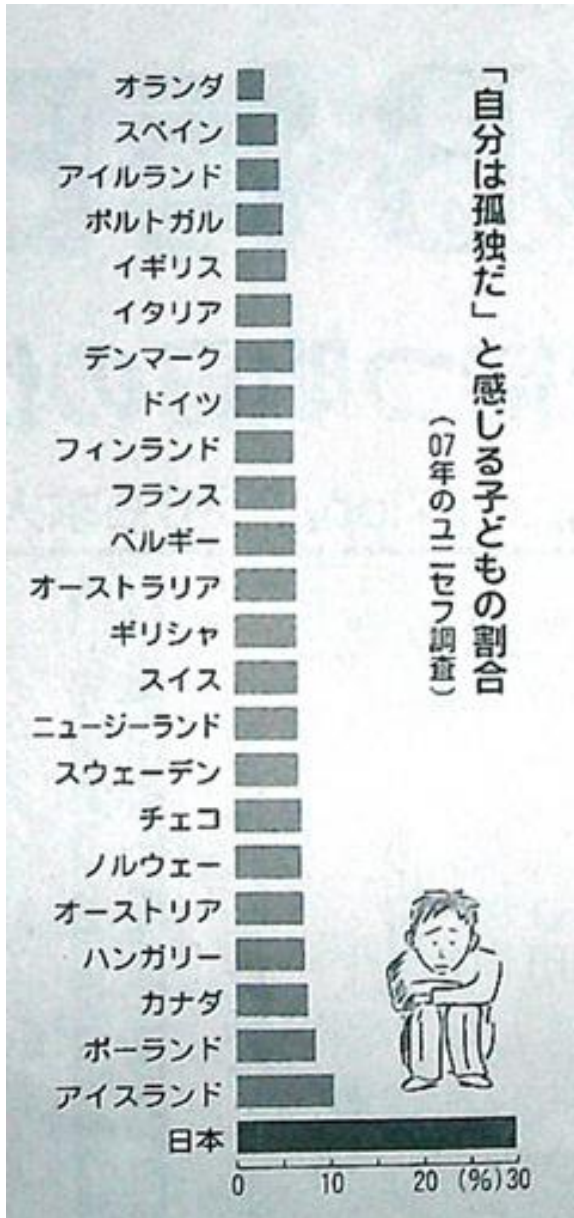


子ども×視覚障がい者

【ユニセフ 幸福度調査】

子どもたちが、孤独を感じるダントツ1位の国は？

【先進国の中で最も子どもが孤独な国、日本】



2007年度の国連児童基金(ユニセフ)イノチェンティ研究センターが公表した子どもの「幸福度」に関する報告書で、「孤独」だと感じている子どもの割合が最も高かったのは日本。

「自分は孤独だ」と感じる十五歳の子どもの割合が29・8%で、平均の7・4%をケタ違いに上回っており、回答のあった24カ国中トップ。

ほぼ3人に1人が感じていることになります。

【子どもたちに学校教育でダイアログを！】

佐賀県と協働して学校教育に

ダイアログを導入する実験を 「ふるさと納税」×「子育て協働事業」



【子どもたちに学校教育でダイアログを！】

2020年オリパラ教育として



×



4 オリピック・パラリンピック

2020年の東京大会では、区内競技場でウィルチェアーラグビー・バドミントン・卓球の3種目が実施されることとなっており、現在、本区では、練習場所の確保が難しいウィルチェアーラグビー、バドミントンに場を提供するとともに、子どもたちとの交流の機会を設けるなどの支援をしています。

今年度は、特にパラリンピック教育の推進を重視し、その一環として、区内（外苑前）で実施され注目されている暗闇体験「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」を小学校3校、中学校1校の児童・生徒に体験してもらう予定です。これは、暗闇の中を視覚障害者が案内人となり、子どもたちがグループで歩く体験学習です。私たちにとって暗闇は「非日常」ですが、視覚障害者にとっては「日常」そのものです。それを実感することが、子どもたちの意識改革につながると確信しています。

●感想をご自由にお書きください

N I A L O G
I N T H E
M A R K

いつも目にあっているから、こん回の体けんであって、体けんがおあ
ったときには、自分は、本当に小さい世界にいるんだなあと思
た。~~よあや~~身やはなかにおいが音をおしらせしてくれたので
よくあけた。ジュースをいつかしちかきとぎした。目が
しゆうな人は、いんなくんせんをけにんたろう。いんなくんせんを
て、なれたんた"ろう。で"もい、ぱいれんしゆうしてるから、なれたのがね。
ふ、しゆうな人は、あたしよりしゆうな力をもっているため
めにあっている、本当のきもちをしれたいんだ。本当の
心をもてないんだ。みんなが、人形のようにかきこ
うこいて、こわかった。もっともっと、本当の心をみんな
にこもたせてあげたい。本当のきもちも、もたせてあげたい。~~た~~

●お答えなければ、以下の項目にお答えください

性別： 男 ・ 女

年齢：

7 歳

ご職業： ありません

参加者 × 視覚障がい者 × 暗闇



ソーシャル・エンターテインメント

日本だけ、オリジナル・コンテンツ開発



違った能力 × 違った文化

バースセラピスト

志村季世恵 Kiyoe Shimura

いのち × 遊び心 × 対等



末期がんを患う方へのターミナルケアは独自の手法を以て家族や本人と関わり、その方法は多くの医療者から注目を浴びている。講演、ワークショップなど多数。

主な著書

『さよならの先』（講談社文庫）、
『いのちのバトン』（講談社文庫）、
『大人のための幸せレッスン』（集英社新書）
『マママインド』（岩崎書店）
共著『親が育てられるとき』（岩波書店）
内田也哉子
『まっくらな中での対話』茂木健一郎（講談社文庫）



社会を静かに変えていく
ソーシャルプラットフォーム

DIALOG IN THE DARK



100日に100万人もの
大量虐殺のあった
ルワンダの復興に

DIALOG
IN THE
DARK



DIALOG IN SILENCE

聴覚障がい者が創り出す
聞こえない対話の場
『ダイアログ・イン・サイレンス』



DIALOG WITH TIME

後期高齢者が創り出す 世代を超えた対話の場 『ダイアログ・ウィズ・タイム』



3つのプログラムを常時展開できる「対話のミュージアム」を都内に建設し、継続的な運営を目指します。

【見えない】



Exhibitions and workshops
in complete darkness to explore
the unseen facilitated
by visually impaired people

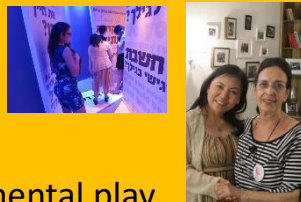
DIA
LOG
MU
SE
UM

【聞こえない】



Exhibitions and workshops
in complete silence about nonverbal communication
facilitated by hearing impaired people

【ダイバーシティ ミュージアム】



Exhibitions and experimental play
about the art of aging facilitated by senior citizens

【加齢】



DIA
LOG
MU
SE
UM



イスラエル テルアビル空港

